

■ベトナム：通貨危機について警告

Morgan Stanley 証券のアジア通貨担当である、Stewart Newnham 氏 (Asian Currency Strategist) は 2010 年 12 月 13 日、ホーチミン市で記者会見を開き、ベトナムが第 2 のアジア通貨危機の発生源になる可能性があるとして警告した。同氏によると、(1) 債務の拡大、(2) 弱体化している経済、(3) 恒常的な貿易赤字、などによってベトナムの通貨である“ドン”がさらに下落し、2011 年に 1 ドル当たり 2 万 3,000 ドンになるとのことである (2010 年 12 月 14 日現在の為替レート 1 ドル=1 万 9,490 ドン)。また、同氏は輸入代金の支払いが焦げ付いた場合、最終的には中央銀行が支払い責任を負うが、中央銀行の外貨準備高は輸入額の 1.8 カ月分相当しかなく、外貨が底をつけばベトナム経済が破綻し、ドンや周辺国の通貨も急落する可能性があるとする「ベトナム発の地域的な通貨危機」に言及した。